

**久留米広域連携中枢都市圏
28年度 第1回ビジョン懇談会 全体会 議事録**

(1) 日 時：平成29年2月20日(月) 14:00～15:20

(2) 場 所：久留米シティプラザ 4階 中会議室

(3) 出席者：ビジョン懇談会委員25名(8名欠席)

事務局4名

各ワーキンググループ職員

※ワーキンググループは以下WGと表記

(4) 次第及び議事：

[○…委員質問・意見 ●…事務局等回答]

1. 開会

2. 議事

(1) 各分科会の協議結果の報告について

①経済成長のけん引分科会会長より報告

【経済成長のけん引分科会の協議結果について説明】

○アンテナショップ事業について、受託された業者は決定したのか。

●運営事業者については、4社の応募があり、4市2町の企画担当課長等を審査員とし、プロポーザルを行った結果、文具、携帯電話代理店、パン屋、免税店を展開している「かがし屋」に決定した。

設計・施工業者は、東京の3社から応募があり、設計が専門の大学教授等を審査委員とし、プロポーザルを実施して、「博報堂プロダクツ」に決定した。

現在、店舗設計や運営、情報発信などの協議を行っている。

○アンテナショップの場所は、新橋のどこか。

●JR新橋駅から徒歩1分ほどのところにあり、会社員など人通りが多い地域である。周りには、「とっとり・おかやま館」、「せとうち旬彩館」がある。

○この圏域は、農産物が豊富な地域であるので、PRをしっかりとやっていただきたい。

○新産業団地整備事業について、どのような戦略で企業誘致していくのか。

●久留米市とうきは市に跨り、約33haの産業団地を整備する予定である。隣接する吉本工業団地には、ダイハツ関連の工場や研究施設がある。また、北部九州は自動車産業が集積していることから、自動車関連の企業をターゲットに誘致していきたい。また、農業が盛んな地域でもあるため、農作物を活用した食品関連の企業もターゲットとしていきたい

○「戦略的な観光の推進」において、医療観光に関する取り組みで進展などあれば教えてほしい。

●久留米市内の病院において、多くは中国人であるがPET健診を行っている。そのような方を対象に健診後に観光へ誘導する取り組みを行っている。

②都市機能・生活関連機能サービス分科会会長より報告

【都市機能・生活関連機能サービス分科会の協議結果について説明】

○地域おこし協力隊の連携事業において、今年度、意見交換会を実施予定とあるが、いつ開催されるのか。共通課題の洗い出しはどのように行うのか。事業費が0であるが、どのように連携を図るのか。

- 先日、大川市で4市2町より広い枠組みである筑後地区の協力隊の集まりがあることを後に知った。よって、それをもって振り替えたいと考えている。共通した課題の抽出については、アンケートの実施により聞き取りを行いたい。事業費については、日常の活動の中で行いたい。
- 活動を行う中で、講師謝金などの費用が必要になることも考えられる。久留米市が音頭をとって、情報交換などやっていただきたい。
- シティプラザの賑わい創造では、冬場の集客は鈍りがちと聞いていたが、賑わいづくりの取り組みはどうか。
- 今年度は初年度であり、年間を通じ様々な事業等を行ってきた。次年度においても、集客に向けた取り組みを行っていく。シティプラザのグランドホールや六角堂広場で事業を行い賑わいと憩いの場として集客に努めたい。また、周辺の商店街、住人の方との連携も図っていききたい。
- 医療の充実、小児救急、子育て分野などにおいては、広報や情報発信が必要であると思う。
- 今年度、ポスターやチラシの作成を考えており、広報につとめたい。
- アンテナショップでの移住希望者への情報発信、福岡都市圏での移住促進について、補足説明等があればお願いしたい。
- アンテナショップの目的として、この圏域への移住促進や交流人口の増加に向けて魅力発信に取り組むことにしており、医療や観光など幅広く情報発信していくこととしている。また、久留米市東京事務所の移住コンシェルジュを活用した移住促進を図っていききたい。
この圏域内の住民への本事業の広報が不十分であるため、4市2町で連携し取り組んでいきたい。圏域外での情報発信として、アンテナショップはもとより、福岡都市圏での魅力の発信など移住促進、交流人口の増加に向けた取り組みを行っていききたい。
- ③事業全体を振り返って
- アンテナショップの商品募集について、大川市ではホームページでの募集をやっていないとフェイスブックでの意見を見た。情報発信は、ウェブの方が浸透しやすいと思う。
- 商品募集については、各市町のそれぞれで募集を行っており、今後も商品募集に取り組んでいきたい。商品募集の告知などの情報発信については、ウェブの活用は有効だと考えており、より良い情報発信につとめたい。
- 物産展を福岡市で開催されているが実績はどうか。
- 福岡市の天神地下街で2月15日、16日の2日間開催した。~~公表できる~~来場者数などはまだ出ていないが、売り上げは昨年の2日間の~~売り上げ~~より多かったと聞いている。
- 異分野異業種新連携創出事業においては、成果指標を参加企業数として年間50社を目標としていたが、今年度の実績として参加者数の数字が示されているが整合が取れていない。
創業支援においても成果指標を相談件数208件とされているが、創業塾の参加者数が実績数となっている。
- 実績値の出し方については、成果指標との整合をとりながら、目標値についても必要な見直しを行いたい。
- 「創業ロケット」での起業数はどうか。
- 今年からの事業である。起業数はわからないが、(創業ロケットへの事業者の)入居数としては3室入居可能であり全室が入居済みである。

(2) 平成29年度新規事業について

〔平成29年度新規事業について説明〕

- 公開するデータの分野は、様々な分野になると思うが、具体的にどのように進められるのか。
- まずはデータの公開によるインフラの整備と考えているので産業振興WGの中で取り組んでいきたい。利活用することが重要であるため、それぞれの分野での利活用の推進のため、担当部局との情報共有や連携を図り取り組んでいきたい。現在、先行して久留米市で取り組んでいるが、民産学官の中で研究しているので、それを圏域に情報提供しながら、圏域での利活用につなげていきたい。
- 事業予算はどのように考えているか。
- まずは、データの公開に取り組んでいくので、事業費はかからないと考えている。カタログサイトについても、無償となっており管理も久留米市でやりたいと考えている。

(3) その他

- 来年度の予定については、6月下旬から7月上旬に全体会を開催し、28年度の最終実績、成果指標の整理等を行いたい。11月頃に、分科会及び全体会を開催し、次年度計画などを議題として行いたい。
- これで本日の懇談会は終了する。